



自立 共生 そして 挑戦

# 明日をめざして5月号

発行者：学校長 山崎 裕之

令和2年度 5月12日（火） 電話：045(802)8797

## 今、学校は何をすべきか

新学期直後の休業から1か月半が過ぎ、さらに5月末までの休業延長が続いています。本来であれば、この2か月の間に、各種健康診断や家庭訪問・教育相談、PTA総会、教育課程説明会、部活動説明会などが行われる予定でした。また、1,2年生の校外行事も中止となり、延期でお願いしていた3年生の修学旅行も中止とせざるを得なくなりました。すべては命を守るための決断とご理解ください。



この期間、本校が何をしていたかを簡単にご報告いたします。まず第一に、生徒への課題づくりと配付・回収の準備です。感染拡大防止と、生徒の学習支援のバランスをどのようにとるかに悩みました。生徒の顔を見て、心身の状態や学習への不安などを少しでも把握し、必要な支援を考える手立てとしたのですが、4月中旬以降は配布のみとなっています。今後は回収の方法を考え、提出物を丁寧にみていけるようにしていきます。

第二は教材研究です。いつ、どのような形で学校が再開されても対応できるように、授業準備には十分時間をかけています。教員は授業がしたくてうずうずしています。そして同時に、授業を受けられない生徒たちの現状を心配しています。学校再開時には、不安が安心に変わるよう関わっていきます。

第三は、行事の再検討です。最も大切な授業時数を確保しながら、実施可能なものを時期も含めて考えています。決まり次第お知らせいたします。

現在、多くの制約の中でストレスを抱えながら生活していますが、命の大切さを肝に銘じ、我々教職員も気を引き締めて学校再開を待ちたいと思います。

## 泉が丘中学校のグランドデザインを作成しました！



本校には「自立」「共生」そして「挑戦」という学校教育目標があります。この目標を単なる「お飾り」にせず、目の前の子も達にどのような教育活動をしていけばいいのかわ1枚の紙にまとめたものを**グランドデザイン**といいます。臨時休業が始まった3月から何回も会議を開き、生徒の実態は？具体的にどうサポートする？など教員全員で真剣に話し合いました。そしてついに泉が丘中学校のグランドデザインを作りあげました！（3ページをご覧ください。）このグランドデザインをもとに、全ての教職員が同じ方向を

むいて日々の教育活動を行います。学校だけではなく、ご家庭や地域の方ともこのグランドデザインを共有し、泉が丘の子も達の成長を支援していけたらと思っています。



## 専任の部屋

# 備えあれば憂いなし！

感染症拡大防止のための休校が継続されます。大切な命を守るため次のことを確認しましょう。

- ① 不要不急の外出は控え、密閉空間、密集場所、密接場面は避けましょう。
- ② 外出する際は、防犯ブザーなどを携帯しましょう。
- ③ 公園等を利用する時は、その場所のルールやマナーを考え、守りましょう。
- ④ 緊急時に連絡する人を決めておきましょう。
- ⑤ 先生やスクールカウンセラーは休業中も学校にいますので、不安や心配がある場合は、学校（045-802-8797）に連絡しましょう。
- ⑥ 玄関などの施錠を徹底し、不用意にインターホンや電話に出ないようにしましょう。

## 5月1日(金)～5月31日(日)は、 自転車マナーアップ強化月間です。

- ① 交通安全のルールを守りましょう。
- ② 歩道は歩行者優先で、車道寄りを徐行しましょう。
- ③ 車道は、左側を通行しましょう。
- ④ ヘルメットを着用しましょう。



## 保健室

# 健康診断は延期となります！



例年だと、今の時季の保健室は健康診断で大忙し！ですが、今年度に限り、感染症の感染拡大予防のため、健康診断を当面の間見合わせることになりました。学校生活が始まって健康診断をすぐに実施するという事は難しく、健康診断を通じての保健管理が行えない状況です。その中でも体育の授業（水泳や持久走など）やさまざまな行事等を実施することも考えられます。

そこで、健康面で気になることがある場合や配慮が必要な場合は、ぜひ学校へご相談いただければ幸いです。また、学校でも保健調査票を通して可能な限りお子様の健康面を把握していきたいと思っております。その中で、保護者の方にご相談させていただくこともあると思いますので、その時はご協力のほど、よろしくお願いいたします。

手洗いは  
最強の  
予防法！

20秒 石けんの  
使って しっかり  
洗おう

食事の前とあと  
トイレのあと  
遊んだあと  
マスクを触ったあと…  
こまめに洗いましょう！

## 編集後記

感染症拡大防止のため、登校ができないまま、5月号の発行となりました。学校の様子や新たな情報については学校便りのほか、まちコミメールやホームページでも発信していますので、ぜひご覧ください。

「学校教育目標」

「自立」「共生」そして「挑戦」



人と人との関わりの中で、自ら学び、自ら成長しようとする態度や行動を通じ、自信をもって、未来を切り拓いていく生徒を育てます。

豊かな心

- ・より良く生きようとする心を伸ばす
- ・自分を認め、他者を尊重する心を育てる  
⇒道徳授業、人権教育など

健やかな体

- ・自己の健康を判断し、運動の楽しさを生活の中に織り込みながら、生涯、運動に親しむ資質や能力を育む  
⇒保健体育科5分間走、体育的行事の充実など

確かな学力（資質・能力の育成）

何ができるようになるか

○学校教育の基本

- ①自己を理解し、自分の良さを発揮できる
- ②他者を理解し、共に高め合える
- ③多様性を認め、信頼関係を築ける
- ④自ら目標を定め、達成に向けて行動できる

何が身についたか

○学習評価を通じた学習指導の改善

- ①自己を振り返って、自分の良さを活かそうとしている
- ②相手の話をよく聞き、共に学び合おうとしている
- ③様々な考え方や価値観を自分の中に受け入れて行動しようとしている
- ④目標に向けた行動を見直ししながら、見通しをもって取り組もうとしている

生徒の実態

- ・明るく素直で素朴
- ・元気で活動的
- ・他律的で依存心が高い
- ・粘り強さに欠ける
- ・社会性に乏しく幼い

子どもの発達をどのように支援するか

○配慮を必要とする子どもへの指導

- ・学習環境のユニバーサルデザイン化
- ・教科相談・教育相談などでの生徒理解
- ・特別支援コーディネーター、SCとの連携、活用
- ・職員間で個々の情報を共有化、協働支援

目指す生徒の姿

- ・主体的に考え、意欲的に学ぶ生徒 【知】
- ・自分を大切にし、人を思いやる生徒 【徳】
- ・自ら鍛え、心身ともにたくましく生きる生徒 【体】
- ・自然、地域、社会を愛し、より良くするために他者と協働できる生徒 【公】
- ・進取の精神をもち、夢や目標、新たな価値に挑戦できる生徒 【開】

何を学ぶか

○教育課程の編成

〈自分の課題を自覚し、解決に自ら取り組む〉

- ・基礎学力を身につける
- ・自他を大切にしたい人間関係をつくる
- ・目標に向けて粘り強く行動する

どのように学ぶか

○教育課程の実施

〈期初の課題の自覚と、期末の成果の見取り〉

- ・スモールステップを意識した課題の提示
- ・合意形成の方法（伝える、聞く、認める）の提示
- ・「目標に向けて取り組み、振り返る」学びのプロセスを重視

実施するため何が必要か  
指導体制、家庭、地域との連携・協力

学校

- 振り返りレポートとYPアセスメントを活用した生徒理解
- 小中一貫ブロックとの課題と目標の共有、連携
- 家庭、地域、外部機関との情報共有・協力

家庭

- 個人面談での課題と目標の共有
- 授業参観、懇談会などを通じた情報共有と協力支援
- 家庭学習の習慣化
- PTA活動への参加の促進

地域

- 学校運営協議会を通じた情報共有・協力支援
- PTAとの連携・協力・支援
- 地域行事への参加による生徒の自己有用感の向上
- 学び場事業への地域人材の活用

# 学年から

## 1学年

新型コロナウイルス拡散防止のための臨時休業が延長され、5月31日（日）までになりました。1年生では今までに、2回の家庭訪問・1回の課題配付日を設け、合計3回の課題配付を行い、学習へのサポートを続けてきました。課題の内容は、小学校からの復習から中学校の予習、作文、自分のシンボルマークを考えるなどさまざまです。また、しばらく休業期間が延長されますが、配付された課題以外にも、国語の教科書の音読（小学校の宿題ではよくやったと思います）など、自分にできることを取り組んで、学習を続けていきましょう。

## 2学年

新型コロナによる影響が様々な分野で起こっています。感染者の推移も注目する点ですが、今もっとも話題に挙がっていることは人命と経済活動再開の優先バランスをどうするかについてではないでしょうか。一番大切なことは人命であることは明らかです。感染拡大を防ぐため、人命を守るために政府から自宅での自粛要請が出て多くの国民がそれを意識し行動に移しています。その一方で、経済が停滞し多くの方々が先の見えない不安に直面しています。この状況で自分ができることは何なのか。生徒の皆さんには睡眠、食事、適度な運動や学習で生活リズムを整えてもらいたいです。そして、家族のためにできるだけ家の手伝いをしましょう。学校再開のめどが立たない状況ですが、生徒の皆さんと一日でも早く一緒に学校生活を送れる日が来ることを祈っています。

## 3学年

明るいニュースが少なく自粛要請が続く中、例年とは全く異なるゴールデンウィークを迎えましたが、外出の機会が減った分、家族と過ごす時間が増えたのではないのでしょうか。時間が増えた分、一長一短はあったと思いますが家族と過ごす時間の大切さを再認識できたのではないのでしょうか。家庭での課題学習が続き、学校再開後の授業への不安や運動不足によるストレス等、蓄積されたマイナス要素も多いかと思いますが、心のバランスをうまくとりながら生活習慣を見直し、学校再開に向けて一日一日を大切に過ごしてほしいと思います。時間は、すべての人に一日24時間ずつ平等に与えられている価値のあるものです。楽しく有意義に時間を使ってほしいと思います。

## 個別支援学級

休校中の課題に「家の手伝い」があったのを覚えていますか？家にいる機会が増えて感じたのは、家事の多さです。一日三食のメニューを考えて、準備をするだけでも大変なことなのです。ご飯のしたくは買い物から入れると1時間30分はかかります。でも、食べるのは15分ぐらい。食べたら食器を洗ってしまう。食事と食事の合間に掃除、洗濯、その他の片付けをやっていると、あっという間に一日が終わってしまうのです。家事にはどんなことがあって、次は何をしたらよいか、何を何時ごろはじめたらよいか、時間を考えて自分から行動できるようになるよいチャンスです。ピンチをチャンスに変えて今だからこそできることに取り組んで欲しいです。